

令和8年度 高島第二中学校 学校経営方針・経営計画

1 教育目標

◎持続可能な社会の創り手となる人間の育成をめざす

- ・ 自ら考え判断し 主体的に行動する
- ・ 社会の一員として自覚し すすんで貢献する
- ・ 自他を尊重し 多様性を理解する
- ・ よりよい社会をめざし 新たな考えを創造する

【校訓】 進化する伝統「自立・創造」

2 めざす学校像

- ・ 生徒が生き生きと学び、楽しく笑顔があふれる学校
- ・ 保護者・地域から信頼される学校
- ・ 教職員が一丸となって力を発揮できる学校

3 めざす生徒像(学びのエリアのめざす子ども像)

人間尊重の精神に基づき、生涯にわたって心身ともに健康で、持続可能な社会の創り手となる生徒の育成に努める。

- ・ 【心の在り方】 ありのままの自分を受け入れ、自信をもって友達とともに成長する子ども
- ・ 【自立】 自ら考え、正しく判断し、自分から挑戦することができる子ども
- ・ 【貢献】 地域や社会の一員としての自覚をもち、すすんでみんなのために行動できる子ども
- ・ 【共生】 相手の話に耳を傾け、共に協力し合って目標を達成できる子ども
- ・ 【創造】 よりよい社会をめざして新たな考えを生み出し、未来のために実践する子ども

4 めざす教職員像

- ・ 生徒とともに喜びを感じることでできる教職員
- ・ 使命感をもち、信頼される言動がとれる教職員
- ・ 日々の実践と研修を行い、自らを向上させる教職員

5 学校経営計画の基本方針

(1) 確かな学力の向上(最重点教育活動)

- ・ 基礎学力の定着: 漢字・計算学習を繰り返し実施し、生徒の「読み解く力」を育成する。
- ・ 授業スタンダードSの具現化: 「自由進度学習」や「課題別選択型学習」を取り入れ、生徒が自ら「めあて」を立て振り返るプロセスを重視する。
- ・ ICTの高度活用: 一人一台端末、デジタル教科書、AIドリルを「学びを調整するための道具」として活用し、個別最適な学びを推進する。
- ・ 生成AIの活用: 端末内の生成AIを活用し、生徒の情報活用能力の育成を図る。

- **探究的な学習:** SDGs、キャリア教育、アントレプレナーシップ教育と関連付けた探究活動を推進する。

(2) 豊かな人間性の育成と心の教育

- **いじめ防止と学級経営:** 年3回のいじめアンケートと「WEB-QU」の適切な分析を行い、不登校の未然防止といじめの組織的対応を徹底する。
- **共生社会の理解:** 施設表示の英語化や給食での世界料理を通じ、外国籍生徒との共生の精神を養う。
- **自治能力の育成:** ガイドラインに則り、生徒の自治を尊重した校則の見直し(ルールメイキング)を推進する。

(3) 幼小接続・小中一貫教育の推進

- **交流機会の確保:** 高島幼稚園・高島第二小学校との異校種・異学年交流(リトルティーチャー、部活動体験等)を推進する。
- **一貫した指導:** 「MIRAI SCHOOL いたばし アクションプラン 2028」に基づき、スタートカリキュラム等で小学校での学びを断絶させない指導を展開する。

(4) 安心・安全に学べる居場所の充実(最重点教育活動)

- **地域貢献型防災学習:** 自衛隊や消防署等と連携し、生徒が企画段階から参画する「防災×アクティブ・ラーニング」を推進する。
- **不登校支援の拡充:** 校内別室を「居場所」から「主体的な学習の場」へと機能拡充し、オンライン配信による学習権の保障を図る。
- **専門家との連携:** SC、SSWによるアセスメントに基づいた登校支援を行い、家庭教育支援チーム等の関係機関と密に連携する。

(5) 多様な教育的ニーズへの対応 特別支援教育の充実(最重点教育活動)

- **組織的支援:** 特別支援教室拠点校の利点を生かし、巡回指導教員との「ケース会議」や「連絡会」を通して指導法を全教職員で共有する。
- **合理的配慮の徹底:** 個別指導計画に基づき、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善と適切な環境整備を行う。

(6) 教員の育成・働き方改革の推進

- **外部リソースの活用:** 都立高島高校や大東文化大学等と連携し、学生ボランティアによる小テスト採点や提出物確認、学習支援の補助を組織化する。
- **専門性の向上:** 特別支援教育や不登校支援に関する外部講師を招いた研修を行い、全教職員の専門性を高める。